

ように全体がはげてしまいました。五郎は（犬の肉を食べたあたりかも知れない）と思いました。しかし、その異状な抜け毛は、長い間の栄養失調と、冬にわずらった熱病が原因でした。

落^{わた}の沢^{さわ}

春をむかえて、柴一家は永住の地を「落^{わた}の沢^{さわ}」に求めました。やつと冬を越しましたが、このまま秋になり冬がくれば餓^が死^ししてしまいます。なんとか開拓地を求めて、食べものを作らなければなりません。

「落^{わた}の沢^{さわ}」は、田名部よりさらに山奥に入ったところですが、一軒^{いっけん}家を借りることができたのでここをえらんだのでした。柴家のほか、家は百米ほどはなれたところに一軒あるだけで、人も犬もよりつかず、狐^{きつね}の声、小鳥^{こどり}の音が聞え